

# 【 説明書 】 日向市高齢者肺炎球菌定期予防接種について

事前に必ずお読みください

この予防接種は、本人が接種を希望する場合にのみ行います。  
気になることがある場合は主治医へ相談してください。

## 【 肺炎球菌感染症とは 】

肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。

この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、咳やくしゃみなどを通じて飛沫感染します。

日本人の約 5～10%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされ、菌が増殖することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがあります。

## 【 予防接種の効果 】

定期接種で使われる「沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)」は、侵襲性肺炎球菌感染症(\*)全体の3～4割程度を予防する効果が期待できます。

※侵襲性感染症…本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のこと

## 【 接種対象者 】

以下の①または②のいずれかに該当し、接種日に日向市に住民登録がある人

① 年齢が65歳の人

② 60歳～64歳で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、又は、ヒト免疫不全ウイルス

スによる免疫の機能に障がい有し、該当疾患で身体障害者手帳 1 級に相当する人

※②に該当する人は、接種時に身体障害者手帳を医療機関窓口へ提出してください。

過去に「肺炎球菌ワクチン」を受けた人は、原則、定期予防接種の対象となりません。

## 【 接種回数 ・ 量 】

1回0.5mL を筋肉内に注射

## 【 副反応 】

以下の副反応がみられることがあります。

また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシー、痙攣(熱性痙攣含む)、血小板減少性紫斑病がみられることがあります。

接種後に気になる症状がある場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

発現割合	主な副反応
30%以上	疼痛・圧痛*(59.6%)、筋肉痛(38.2%)、疲労(30.3%)
10%以上	頭痛(21.7%)、関節痛(11.6%)
1%以上	紅斑、腫脹



## 【 他の予防接種との接種間隔 】

予防接種を受ける前後に他の予防接種(インフルエンザ・新型コロナなど)を行う場合、何日以上間隔を空けるといった制限は定められていません。

## 【 受けることが適当でない人 】

- ▶ ジフテリアの成分が入ったワクチンを打って、アナフィラキシーをおこしたことがある人
- ▶ 明らかに発熱のある人(37.5℃以上)
- ▶ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ▶ 上記のほか、予防接種を受けることが不適当な状態にあると医師が判断した人

## 【 注意を要する人 】

- ▶ 過去に免疫不全の診断がなされている人
- ▶ 近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ▶ 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患を有する人
- ▶ 予防接種を受けて2日以内に発熱や、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状をおこしたことがある人
- ▶ けいれんをおこしたことがある人
- ▶ 予防接種液の成分やジフテリアトキソイドによってアレルギーをおこすおそれがある人
- ▶ 血小板減少症、凝固障害、抗凝固療法を受けている

## 【 接種後に注意すること 】

- ▶ 接種後 30 分程度は安静にしてください。体調に異常を感じた場合には、接種した医療機関へお問い合わせください。
- ▶ 注射した部分は清潔にしてください。入浴は問題ありません。
- ▶ 当日は、激しい運動は控えてください。

**「予防接種済証」は大切に保管してください！**

## 【 予防接種健康被害救済制度 】

極めてまれですが健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあるため、救済制度が設けられています。

厚生労働大臣が健康被害を認定した場合、予防接種法に定められた医療費や各種手当などの給付を受けられます。

「高齢者肺炎球菌の定期予防接種」は、

**65 歳になってから、66歳の誕生日の前日まで 接種できます。**

**問い合わせ先:日向市健康増進課(66-1024)**